

第33回 21世紀医療課題委員会 公開フォーラム

2035年に向けて。進化する未病ケア産業を考える

Part 2

ストレスチェック義務化で何が動くのか

この12月より、ストレスチェックの義務化がなされます。これにちなみストレス関連の多くのベンチャー産業が生まれました。はたして新たな制度は社会に何を生み出すのか。この国のストレスは何処に向かうのか。皆で集合知を出し合う事で見えてくるものがあります。



弦間昭彦学長



海原純子教授

(挨拶)

日本医科大学 学長 弦間昭彦

【特別報告】ストレスチェック義務化制度の意義と成立について

厚生労働省労働基準安全衛生部

【基調講演】

1) 2035年の国民のストレスを考える

小児科医 自見はなこ

2) ストレスとレジリエンス。日本医科大学ストレス健診の試み。

日本医科大学 ストレス外来 特任教授 海原純子

【ストレス対応未病ケア産業の展望】

座長 (一財)博慈会 老人病研究所 所長 福生吉裕

1) ICTサービスによるストレスチェック義務化対応とは

(株)日本ブレーン 取締役 小野寺一孝

2) 脳疲労にやさしいサプリメント：中鎖脂肪酸の役割について

日清オイリオ(株)中鎖脂肪酸事業化推進室主管 渡邊慎二

3) ストレス社会からの脱却：生涯ストレスフリーのヒント

(株)阿蘇ファームランド 社長室長 竹田知子



自見はなこ氏



小野寺一孝氏



渡邊慎二氏



竹田知子氏



座長 福生吉裕

・期日：2015年12月6日(日) 13:30~17:00(開場13:00~)

・主催：21世紀医療課題委員会。未病ケア日本

・会場：日本医科大学 橘桜会館 2階 大ホール

・共催：博慈会記念病院 附属老人病研究所

・参加料：2000円(資料・名刺交換会を含む) 学生500円

・後援：日本医科大学。日本未病システム学会